



農家のお母さんだからできることがある マスコミも注目する農家女性のグリーン・ツーリズム

第6回 農山漁村コミュニティ・ ビジネスセミナー



参加費
2,000円

日時

2019年12月3日 | 火 |
午後1時30分～午後4時30分

講師

大館市まるごと体験推進協議会
会長 石垣 一子 氏(秋田県大館市)

場所

都市農山漁村交流活性化機構会議室
(東京都千代田区神田東松下町45)

本場のきりたんぼと秋田弁でおもてなし。秋田弁ラジオ体操などの発想も豊か。地域の素材にアイデアとユーモアを盛り込んで取り組む姿は“日本中のお母さんたちにも立ちあがってほしい”と思えるほど。農家のお母さんの頑張り成功を導いたと高く評価され第16回オーライ!ニッポン大賞を受賞。大館市まるごと体験推進協議会代表の石垣さんは、リヤカーで農産物売り歩く直売活動を始め、女性たちで立ち上げた「陽気な母さんの店」という農産物直売所を2億円の産業に育てました。

大館市はきりたんぼ鍋に欠かせない比内地鶏の日本一の産地、本場大館のきりたんぼを生徒達に食べさせたい!と農家のお母さんと役場の職員が立ち上がり、2004年より修学旅行受入れが始まり、本場のきりたんぼの味と農家のお母さん達のおもてなしが評判となり、訪れる学校が年々増えています。

2014年には、農家の女性たちが秋田弁で演じる大館市まるごと劇団」を旗揚げし、大館に来なければ会えない母さん、食べられない物、見られない景観、伝わらない想いを知ってほしいとふるさと大館の魅力を次々と形に変えて発信しています。